
蛇足

次郎太

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蛇足

【Nコード】

N9156H

【作者名】

次郎太

【あらすじ】

教室に戻ると、友達二人が言い争いをしていた。

「ドイツだろ！」

「いや、絶対にイタリアだって！」

トイレから帰ってくると、教室の隅でぼくの友達二人が何か言い争っていた。

「どうしたの？ もうすぐ算数の授業始まっちゃうけど」

ぼくが尋ねると、一人が、

「俺は鬼塚に、『本場の国』ってどこだと思つかをきいたんだ。もしたら、鬼塚が、イタリアだって言うんだ。どう考えてもドイツだよな？ サッカー強いし」

僕に向かつて、そうまくし立てる。

もう一人の友達、鬼塚がそれに反論して、

「違うって。サッカーも、セリエAはイタリアにあるから。絶対にイタリアだって。母さんも『本場イタリアのワインは違うね』って飲みながら言ってたし、父さんが『やっぱイタリア製のスーツが欲しいな』って言ってるのきいたことあるし。スパゲティ・ナポリタン美味しいし。だからイタリアなんだって」

「スパゲティ・ナポリタンなんかイタリアじゃ存在しないって、この前テレビでやってるの見たぞ！ それに、うちの父ちゃんも母ちゃんもワインよりビールの方がいいって言ってたぞ」

いったん、二人の話から耳をそらし、考えてみる。ようするに、ドイツとイタリアのどちらが本場っぽいかに競っていたようだ。

いつものようにそんな事で喧嘩している二人にうんざりしながらも、ぼくは、おもしろ半分に、

「本場ならフランスじゃないのか」

そう言ってみた。しかし、

「それはおかしいだろ。お高くとまってる感じがするだろ、フランスは」

「そうそう。フランスは本場ってより高級って感じだよな」
なぜだか二人から非難的にされてしまった。

似ているんだかないのか、この二人。

坊主頭でＴシャツ・短パンのドイツドイツ言ってた友達、田崎孝介。両親がイタリアびいきらしい、ワンピースに後ろ髪がかかっている友達、鬼塚聡子。

二人に『めおとまんざい』ってのをさせとけば、その内にテレビに出るんじゃないだろうか。

ここまでが僕の回想だ。あれから二十年近くが経ったが、何故かこのやり取りだけは鮮明に覚えている。

これは人づてに聞いた話だが、先日、二人は、

「本当に後悔しないか？」

「もちろん。もう、これからの新しい生活を考えているくらいだもの」

そんな言葉を交わし、彼女が指輪をスツと取っただけ。

そして、離婚届けに判を押し、婚約指輪と結婚指輪は質屋に入れたと云う。

（後書き）

二段オチでお送りしましたが、いかがだったでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9156h/>

蛇足

2010年12月26日14時14分発行